

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第72号（準備会から通算第93号）

発行日 令和5年4月1日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 山崎 徳次郎

・・・「時・空間との対話」・・・

今年1月5日に町会の屋台骨のような副会長の鈴木清さんが亡くなられた。仲西会長の時から10年以上も町会を支えてきた方だった。殊に会館の管理運営は全く一任だった。突然の人の死は、周辺に途轍もなくアクシデントが起り、收拾に時間が掛かる。何とかここ1、2カ月で軌道に乗れるような形になってきたようだ。昨日・今日・明日という時間の不可逆性、と一方で、昼と夜・春夏秋冬という反復繰り返しの無限性（時間の観念の存在しない）が、ある出来事（アクシデント）によって乱れ、後戻りのできない時間への憎悪、反復される毎日ではない異常な時が連続してくるのだ。誠に疲れる。

先日ユーチューブ動画で小津安二郎の「東京物語」を暫くぶりに観た。私は10代、20代の頃小津の映画は全く興味を示さず、どこが面白いのかさっぱりだった。ドラマが映画の中で全く成立していない。単なる人間の日常を映し取っているだけでしかない。何故にこれら小津の映画を大人たちは賞賛するのだろうか？しかし、今、私はその小津の映画にとっぴりと浸かっているのだ。ゆったりとした繰り返される時間の流れの心地よさ、まるで生きている現実世界の煩わしさからの逃避をしているかの如く。

昨年暮れに小津の映画とは、真逆のような映画作りをしてきた映画監督吉田喜重が、亡くなった。吉田は小津に対する敬意と尊敬を持った視線で「小津安二郎の反映画」と言う本を書いている。その序文の中でこんな文章があった。晩年に小津が語った事「映画はドラマだ。アクシデントではない」この呪文のような言葉の謎解きからこの本は始まる。もう50年近くも昔のテレビのドキュメンタリー番組で吉田が「美の美」という西洋宗教絵画から印象派絵画に至るまで様々な画家たちの紹介を中心にしながら、画家とその絵画に含まれる謎解きを描いている世界に、私は魅了され、引き付けられたことがあった。描かれた絵画という対象から映し出されて行く映像と吉田のナレーションから脈絡のない瞬間を表している絵画が、意味を立ち上げては、時間という霧の中に消えていくようなそんな番組だった。

校区住民協 副会長 加藤 富士男
(山の根親交会 会長)

令和5年3月度役員会

開催日時：2023年3月4日（土） 13時30

分～15時40分 場所：久木会館多目的B室

出席者：17名（内役員12名）

議題

(1) 事務局からの報告事項

①2023年度総会準備作業スケジュール

総会開催に向けて、準備作業などの日程が確認された。

・総会は久木会館の会計監査日程を鑑み、5月6

日に久木会館にて対面で実施する予定。

・総会資料の最終確認を4月の連絡会に代えて、4月15日に実施する。

・各部会、及び久木会館の2022年度活動報告

/2023 年度活動計画を 3 月 25 日までに事務局にメールにて提出するよう要請された。

・規約により、総会資料は総会開催日の 15 日前

までに会員各位の手元に届ける必要があるので、4 月 15 日の総会資料の最終確認の後、速やかに印刷/発送を遂行することが確認された。

(2) 審議事項

①2023 年度総会資料の件

○第一号議案「2022 年度活動報告（案）」が紹介され、誤記の訂正、文脈の訂正につき提案があり、確認・修正された。

○第四号議案「2023 年度活動計画（案）」が紹介され、誤記の訂正、活動名称の変更につき提案があり、確認・修正された。

○第六議案「役員選任の件」について説明があり、来年度は 2 年に 1 度の改選期となる為、後日改めて検討することが確認された。

○会員名簿の件

会員の確認が実施され、吉田啓子氏の退会、及び市の地域担当職員本田由紀子氏の所属変更が確認された。また、各自名簿を再確認し、追記・削除の必要がある場合は、速やかに事務局にメールにて連絡するよう要請された。特に、組織代表者の変更に留意するよう注意があった。

尚、市の担当職員変更情報は 4 月中旬になるが、4/15 の役員会には提示出来る見込みであるとの見解が示された。

②会館使用料支払方法

会館使用料の支払いは、予約時前払いが原則であるが、住民協は後払いとしている。

本件については、役員会、連絡会など年間の予定が決まっているものは一括して前払いすることし、その他部会などでの使用する場合は、立替払いとすることに改めることが確認された。

③各部部长及び会館長から現況報告及び全体への協力要請事項

減災部会：2022 年度活動のサマリーが報告された。尚、避難行動要支援者の個別プラン作成は、保留状態であることが報告された。

事務局より、減災に関する情報ネットワークのあり方につき、山の根の門脇氏がまとめているので、今後、減災部会、役員会で講演してもらう予定であることが報告された。

ふれあい部会：会合はここしばらく開催していない。活動としては、拠点部会、子供部会との相乗活動に軸足を置くこととしている旨報告された。

拠点部会：朝市を 3 回開催したが、井上部会長としては、久木会館との関わりがほとんどないので、今後の活動イメージがつかめない、については、例えば「久木会館の改築にかかるワークショップ」の参加メンバーなどから新たな部会長選出して、次期活動に繋げるよう要請された。本件については、後日事務局が協議の場を調整することとなった。

久木会館：Facebook など PR 活動を実施した成果もあり、利用状況は順調である。

また、消防本部より、「防火管理責任者」を配置するよう要請されたが、有資格者がいたので、登録準備をしている。尚、避難誘導など、防災体制については今後検討してゆく旨報告された。

事務局より、決算書をまとめるにあたって、前年度同月比較が出来る資料を作成するよう要請された。

④その他

a) 特別号・ひろば第 6 号座談会を踏まえて、これからの地域づくりについて、特別号の座談会に出席した若い人達とシニア達とのコミュニケーションを図り、意見交換、協議する場として、社協のワークショップ「座談会 地元でたのしく」が 3/18(土)に開催される旨紹介があり、申し込み登録するよう要請された。また、各自治会に、掲示板などに、チラシを掲示するよう要請された。

b) 久木会館の改築にかかるワークショップが実施されることが紹介され、可能な人は市民参加メンバー募集に応募するよう要請された。

c) 会員動向の件

事務局より新規 1 名（瓶子純一氏）の会員登録に付き諮問があり、本役員会にて承認された。

尚、会員名簿には既に記載された旨報告があった。

《連載》 久木朝市ひろば

三浦の野菜【ダイコン、千本あったら千回】

当会会員 細野 裕

(三浦市毘沙門在住)

大根が抜かれます。真っ黒な土から…。

両手に力を込めて暖かな土の中から、この世に真っ白な肌を見せて。

1000本あったら1000本、1000回。手で抜かれます。畑に並べられて、重ねられて、一列に並びます。包丁の登場です。よく切れる、包丁です。緑の葉っぱが、サクツツ、サクツツ、サクツツ。ザクツとではありません。サクツツとなんです。それは、包丁がよく切れるからなんです。緑の葉っぱが、畑に並び、大根は、軽トラックに綺麗に上手に並べられ、自宅の作業場へと運ばれていきます。1000本積んだら1000本、1000回。農業人の手によって、一本一本積まれます。綺麗に上手に。軽トラックには300本くらい積



まれるのです。農作業場に移された大根が、一本一本、軽トラックから降ろ

されます。農業人の手によってです。水洗いが始まります。大根は回転しながら、水で洗われて、美しい白い肌になります。1000本あったら1000本、1000回。カーゴに積み、お

尻を見せて乾かされます。

そして、最後に段ボール箱に積み込まれます。1000本あったら1000本、1000回。人の手(農業人)によってです。そして、大根は出荷され、輸送トラックで市場に出荷。流通経路を経て、店頭並びます。



人の手(販売員)によって並びます。そして、人の手(消費者)によって、一本、二本、買われて食卓に上ります。

そうなんです、一本一本が何度も、人の手によって、抜かれ、洗われ、運ばれ、買われ、そして口に入るのです。一本一本です。どんな野菜も人の手によって、一本一本、丁寧に扱われています。農作業を手伝いながら見るようになりました。感謝というほか言葉がありません。食べられる部分はすべて残さず加工するようになりました。だって1000本あったら1000本、1000回。人の手に懸けられているのです。捨てられません。今も、農作業を手伝っています。美味しい野菜、食べてますか。

《レポート》 カーボンニュートラル (続)

14. バイオマスと廃棄物 (3)

③プラスチック廃棄物

バイオマスに分類される廃棄物とは異なりプラスチック廃棄物は、多くのものは自然界で分解されないため、廃棄物により環境を汚染することが現実となっています。その一つの現象がマイクロプラスチックによる海洋汚染の問題です。廃却或いは放置されたプラスチックは長い時間の経過とともに、破砕や分解されて、最終的には炭酸ガスと水に還元されない限りは、極めて小さなプラスチックの粒子となり、海水中に存在するよう

なり、これを海洋生物が体内に取り込むなどで生態に害を与えるという現象です。対策として海水中で炭酸ガスと水までに分解する生分解性プラスチックが研究されて実用の段階に達しています。

プラスチックは今、前述のカーボンニュートラルと環境汚染対策の2面から、いろいろな検討が加えられています。前述してきましたが、それらをまとめると次のようになります。

検討項目	対象となる対策	内容	実用化その他
バイオマスプラスチック	カーボンニュートラル(CN)	原料の一部あるいは全部を植物由来に変えてGHGを減らす	植物由来エタノールを原料としたポリエチレン等
生分解性プラスチック	環境汚染	自然界で分解して炭酸ガスと水となるプラスチックとする	農業用資材としてポリ乳酸等
プラスチックから他の物質へ代替	CN、環境汚染	化石燃料由来プラから植物由来の製品に代替	使い捨て食器類をプラから植物由来品へ
リサイクル	CN、環境汚染	プラを回収して、原料或いは素材に戻して再利用	飲料用ペットボトル等
リユース	CN、環境汚染	製品を回収再利用する	

カーボンニュートラルを考える際に、可能な限りリサイクルを、リサイクルが不可能な使い捨て等の製品についてはバイオマスプラスチックの使用や植物由来等の他の物質製品への切り替え等が検討されています。

プラスチックのリサイクルを実現させるには回収がカギを握ります。ペットは高い回収率が実現しており、飲料用ペットのリサイクルが進んでいます。生分解性を持つプラスチックでも他のプラスチックと分別されないで回収されると、本来の

機能が発揮されずに焼却処理等されてしまうことがあります。(次回は、16.カーボンプライシングを予定) 鈴木 為之(山の根在住)

会員の皆様へ:年次総会の予告
 下記の予定で令和5年度総会を開催しますのでふるってご出席ください。
 記
 日時:5月6日(土)、14:00~16:00
 場所:地域活動センター・久木会館

編集後記

今年も桜が咲き始めた。この時期になると竹内まりやの「人生の扉」という曲が頭の中で自然と流れてくる。私のお気に入りの曲の一つである。いつか以前にも書いた記憶があるが、皆さんにも検索してこの名曲を聴いて頂き度いと思う次第である。

1. 春がまた来るたびにひとつ年を重ねる
 目に映る景色も少しずつ変わるよ
 陽気にはしゃいでた 幼い日は遠く
 気がつけば五十路を超えた私がいる
 信じられない速さで時は過ぎ去ると知ってしまったら
 どんな小さなことも覚えていたいと心が言ったよ
 —中略—
 満開の桜や色づく紅葉を
 この先いったい何度見ることになるのだろう
 ひとつ ひとつの人生の扉を開けては感じるその重さを
 ひとり ひとり愛する人たちのために生きてゆきたいよ
 —中略—
 君のデニムの青が褪せてゆくほど味わいも増すように
 長い旅路の果てに輝く何かは誰にもでもある

事務局長 石井 達郎